

幸区区民会議

環境部会経過報告

平成23年2月16日

1

1. これまでの検討の流れ



2

2. これまでの検討の総括

第1回・第2回の専門部会の議論において、新規テーマ・継続テーマの内容を議論し、以下を決定した。

【新規テーマ】地域におけるエコ・環境の推進

《具体的取組内容》ゴミ分別意識の啓発

・平成23年3月から始まるミックスペーパー回収の全市展開と関連し、区民のゴミ分別意識の啓発活動にまず取り組み、その後より幅広いエコ・環境問題に取り組む

【継続テーマ】自転車通行マナーを向上させる取組の推進

《具体的取組内容》自転車通行マナーの啓発

・歩行者にとって大変危険である自転車通行マナーの向上について啓発活動を行う

以降の専門部会では、新規テーマの具体的取組内容について議論した。

3

第3回専門部会

（平成22年11月29日）

4

3. 第3回専門部会

新規テーマの具体的取組内容の検討

これまでの議論を踏まえ、「ゴミ分別意識の啓発」の具体案として、以下の4つを事務局より提示し、内容について議論を行った。

区民を対象としたエコ関連施設見学会の企画・実行
小学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施
ゴミの分別のマナーアップキャンペーンなどイベントの実施
町会等と連携したゴミの分別状況調査の実施

5

3. 第3回専門部会

「区民を対象としたエコ関連施設見学会の企画・実行」についての検討

（取り組みの概要）

- ・ミックスペーパーをリサイクルしてトイレトペーパーを生成する専用の工場である三栄レギュレータ東京工場など、川崎市内のエコ関連施設への区民対象の見学会を区民会議が企画・立案・実行。

（オプションメニュー）

- ・見学会のほか、ゴミの分別などの環境講座を実施し、ワークショップなどを行い、ミックスペーパーやプラスチックの分別等における問題点や課題、意見などを把握。
- ・この結果を区民会議がまとめ、区内全域で平成23年3月より開始されるミックスペーパー・プラスチックの分別回収にあたる提言を行う。

6

3. 第3回専門部会

「区民を対象としたエコ関連施設見学会の企画・実行」の検討結果

(結論)

・本部会では、ゴミ分別の意識啓発についての関心が高いので、まずは、そちらの取り組みを優先したい。

7

3. 第3回専門部会

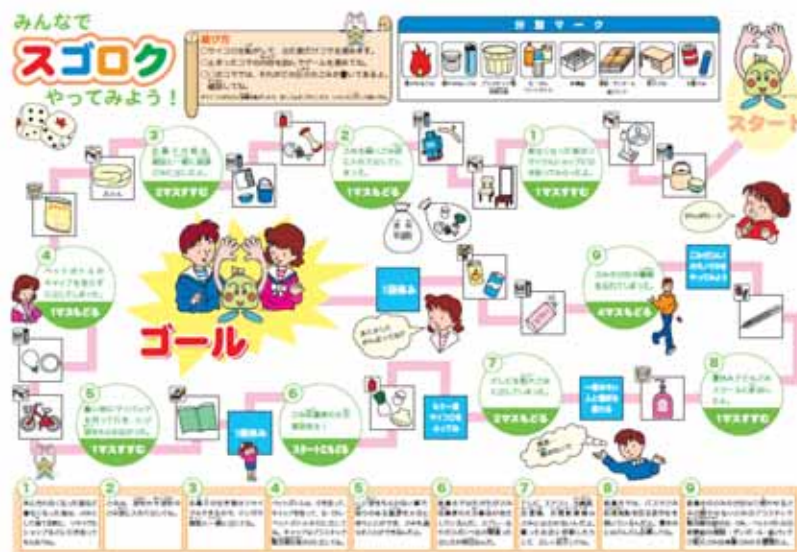
「小学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施」の検討

(取り組みの概要)

- ・ 区内の小学校を対象とし、ミックスペーパーやプラスチックゴミのリサイクルに関する環境エコ教室を実施。
- ・ 実施にあたって、市の「ごみ問題講習会」(小中学生を対象にごみの収集や処理過程などをテーマとし、夏休み期間に開催)との連携(講師の派遣や教材の活用など)やこの取り組みを参考にするなどが考えられる。
- ・ 専門的な話を展開していくだけでは、子供たちもついてこない・これないと考えられるため、子供たちが楽しみながら知識と意識を高められるよう、ゲーム形式のコンテンツも用意するなどが考えられる。

8

3. 第3回専門部会



図．ゲーム形式のコンテンツのイメージ（徳島市の教材より）

9

3. 第3回専門部会

「小学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施」の検討結果

（結論）

- ・小学生を対象とした分別マナー向上などは必要。
- ・学校の場合、市の環境局とタイアップでき、学校と交渉して授業の一環としてやることができる。
- ・(かつて)減量指導員をやっていたが、ゲーム形式の出前講座を実施したことがある。
- ・より具体的な内容について検討を継続する。

10

3. 第3回専門部会

「ゴミの分別のマナーアップキャンペーン などイベントの実施」の検討

(取り組みの概要)

- ・ ミックスペーパーやプラスチックゴミの区内での分別回収実施に伴い、これらのリサイクル・分別に協力してもらえよう、ルール啓発キャンペーンやマナーアップキャンペーンなどのイベントを区内で開催。
- ・ 区民会議が、このイベントの企画及び運営を実施。



図．マナーアップキャンペーンのイメージ（神戸市の取組より）

11

3. 第3回専門部会

「ゴミの分別のマナーアップキャンペーン などイベントの実施」の検討結果

(結論)

- ・ この取り組み単体をイベントとした場合の集客効果が薄いため、何らかの大規模なイベント(区民祭、日吉まつりなど)と関連して実施したい。
- ・ 大規模なイベントでは、ゴミ捨ての専用ブースを作って分別して捨ててもらい、そこで意識啓発を行うというやり方もある。
- ・ より具体的な内容について、検討を継続する。

12

3. 第3回専門部会

「町会等と連携したゴミの分別状況調査の実施」の検討

(取り組みの概要)

- ・ ミックスペーパーやプラスチックゴミの区内での分別回収実施に併せて、これらのゴミの分別の状況がどうなっているのか、出されるゴミについて区民会議が調査を実施。
- ・ 調査にあたっては、各委員だけでは調査が困難と考えられることから、町会・自治会などの地縁団体、ゴミに関する活動を行っている環境団体等との連携を想定。

(調査対象とするゴミ)

- ・ ミックスペーパーやプラスチックのゴミの日に出されるゴミだけでなく、燃えるゴミなど他のゴミの日に出されるゴミ中の、ミックスペーパー・プラスチックゴミの混在状況も把握。

13

3. 第3回専門部会

「町会等と連携したゴミの分別状況調査の実施」の検討結果

(結論)

- ・ ゴミの量は変化するため、ゴミの分別が進んだかどうかを量の増減から単純に評価できないなど、調査の方法が難しい。
- ・ 調査を継続するには、区民会議や(連携を想定する)町会の負担が大きい。
- ・ 調査よりも具体的な取組に注力したい。

14

部会合同視察会

1. 「エコプロダクツ2010」視察会

開催日：平成22年12月9日（木）

2. 「三栄レギュレータ東京工場」視察会

開催日：平成22年12月22日（水）

15

4. 部会合同視察会の開催

- ・環境部会の新規テーマである「エコ」と、安心・思いやり部会の新規テーマである「交流の場」という各々のテーマに関連した知識や意識を高めるため、所属部会を問わず参加できる「部会合同視察会」を実施した。
- ・環境部会の関連として、以下の2つの視察会を実施した。

1. 「エコプロダクツ2010」視察会

開催日：平成22年12月9日（木）

2. 「三栄レギュレータ東京工場」視察会

開催日：平成22年12月22日（水）

16

4. 部会合同視察会の開催

1. 「エコプロダクツ2010」視察会

- ・東京ビックサイトで実施された我が国最大級の環境展である「エコプロダクツ2010」を視察した。



17

4. 部会合同視察会の開催

2. 「三栄レギュレータ東京工場」視察会

- ・川崎市内にある、ミックスペーパーからトイレットペーパーを生成する専用の工場。
- ・視察会では、専門の講師から説明を受けた後、施設内でリサイクルのプロセスを見学した。



第4回専門部会

(平成23年1月11日)

19

5. 第4回専門部会

新規テーマのより具体的取組内容の検討

前回の専門部会で、より具体的な内容について検討することとなった2つの取組について、前回提示した内容に加え、関連する取り組み案を事務局より複数提示し、内容について議論を行った。

1. 小学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施
ゴミ教室の実施と家庭におけるゴミ排出量の削減
小学校における分別の徹底・ゴミの見える化
2. ゴミ分別のマナーアップキャンペーンなどイベントの実施
大規模イベントの1コンテンツとしての「雑がみ分別ゲーム」の開催
大規模イベントのエコ化促進に向けた取り組みの実施
分別ルールやマナーアップに向けたPR活動の展開
(キャラクターの開発など)

20

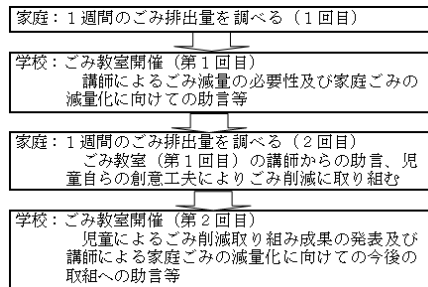
5. 第4回専門部会

1. 「ゴミ教室の実施と家庭におけるゴミ排出量の削減」の検討

（取り組みの概要）

- ・子供たちにゴミ分別に関する関心を持ってもらうため、ゴミ教室を実施。
- ・単に子供の意識を啓発するだけでなく、その効果を家庭に波及させるため、家庭での1週間のごみ排出量を調べる。

<取り組みの流れ>



21

5. 第4回専門部会

1. 「小学校における分別の徹底・ゴミの見える化」の検討

（取り組みの概要）

- ・小学校において、「ごみの視覚展示」をコンセプトに、ゴミ分別の「見える化」に取り組む。（例えば、ごみ箱を色別に分け色で分別するなど）
- ・更に生徒の関心を高めるため、ゴミがどこに運ばれ、どんな処理がされているのか等を展示。



図．学校における見える化のイメージ（旭川市立知新小学校の取組より）

22

5. 第4回専門部会

「1. 小学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施」についての検討結果

(結論)

- ・小中学校で捨てられるゴミの量も分別の種類も少ないと思われるので、小学校で分別を進めていく取り組み自体を区民会議がやるのは効果の面で疑問。
- ・まずは出前講座を実施するのがよい。(家庭や学校での取り組みは今後検討)
- ・授業の中で組み込むほか、PTAが主体となって行う、「家庭教育学級」での実施も考えられる。
- ・各校の校長・PTAを通じて要請を行い、各校関係者と接点がある委員が事務局と連携して調整する。

23

5. 第4回専門部会

(具体的取組事例)

- ・平成23年1月29日に実施された、幸区PTA協議会主催の中本賢氏講演会の開始前に、会場内にてミックスペーパー・プラスチックゴミ分別の説明を行った。



24

5. 第4回専門部会



25

5. 第4回専門部会

2. 「大規模イベントの1コンテンツとしての『雑がみ分別ゲーム』の開催」の検討

(取り組みの概要)

- ・区内で開催される大規模イベント（環境に関するものが望ましい）に出展する形で、「雑がみ分別ブース」を設置し、分別に関するゲームを実施。
- ・同時に、家庭から雑がみを持参した方に、粗品を提供するなどの取り組みを実施。

26

5. 第4回専門部会

2. 「大規模イベントのエコ化促進に向けた取り組みの実施」の検討

（取り組みの概要）

- ・区内で開催される大規模イベントにおいて、イベントで出されるゴミの分別回収を目的とした「分別ステーション」を設置。
- ・イベントへの来場者に対面で対応し、ゴミの分別を案内しながら、ミックスペーパーの分別回収についてのPRなどを実施。
- ・市の減量指導員と連携し、来場者への分別対応をしながら、制度の広報・周知を行うことも検討。

27

5. 第4回専門部会

2. 「分別ルールやマナーアップに向けたPR活動の展開」の検討

（取り組みの概要）

- ・分別やマナーアップに関し、広く区民（市民）の意識を啓発するため、ゴミに関するストーリー性を組みこんだキャラクター等を企画・開発し、意識啓発を行う。
- ・キャラクターを開発する場合は、区内在住の芸術系・アニメ系の大学・専門学校の学生などからキャラクター案を募集するなどが考えられる。



ワケルくん（仙台市）



ワケトン・ワケヘン（神戸市）

28

5. 第4回専門部会

「2. ゴミ分別のマナーアップキャンペーンなどイベントの実施」についての検討結果

(結論)

- ・実施時期としては、「小学生を対象としたゴミ分別の出前講座」の後で行うこととする。
- ・「分別ルールやマナーアップに向けたPR活動の展開(キャラクターの開発等)」は、どのような目的で行うか等を議論した上で共有し、検討をすすめる。
- ・デザイン等を公募するにあたっては、学生だけでなく、区内の高校に応募してもらう、5つの中学校ごとにデザインを作ってもらうなど、身近に感じてもらう工夫も重要。

29

5. 第4回専門部会

(具体的取組事例)

- ・平成23年2月1日版市政だより幸区版において、本区民会議の取組を紹介し、区民へのゴミ分別意識啓発を行った。

区民会議でも
話し合います

ごみの分別収集開始にあたり、区民会議でも具体的な取り組みを検討しています。環境部会副部会長石原陽子さん(写真)は「慣れるまでは少し大変かもしれませんが、一緒に頑張りましょう」と協力を呼びかけます。

区民会議全体会は二月十六日(水)午後六時半～八時に、区役所で行われます。傍聴は当日先着二十人。

区役所企画課(556) 6
12、(555) 3130

30

5. 第4回専門部会

(具体的取組事例)

- ・平成23年2月に、環境部会の君和田委員が、かわさきFMに出演し、区民会議における取り組みについて報告を行い、区民へのゴミ分別意識・啓発を行った。